

Tracers S&P500ゴールドプラス

当ファンドの運用状況やその魅力などについて

- ネット専用ノーロード・ファンドシリーズ「Tracers(トレーサース)」の第1弾として2022年8月31日に設定された当ファンドは、米国株式と金を主要投資対象とし、先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の200%相当額(米国株式100%+金100%)の投資を行ないます。なお、米国株式への投資ではS&P500指数に連動する投資成果をめざし、金については金先物取引を通じて投資を行ないます。
※米国株式には、マザーファンド*ならびに米国の株価指数先物取引を通じて投資を行ないます。
*マザーファンドは、S&P500指数(税引後配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果をめざします。
- 本レポートでは、当ファンドの運用状況やその魅力などについて、ご紹介いたします。

本レポートの 内容

▶ 当ファンドの運用状況

先物取引の活用による、純資産総額の200%相当額の投資が功を奏し、
当ファンドの基準価額は、設定来で約129%、2024年は年間で約65%の上昇。

▶ 当ファンドの魅力 ～米国株式と金を組み合わせる効果～

米国株式と金に、純資産総額の200%相当額の投資を行なうことにより、
好環境時には、**リターンが高まり、運用効率(リターン/リスク)も向上。**

良好なパフォーマンスと資金流入により、純資産残高が足元で大幅に増加

< 基準価額と純資産総額の推移 >



(2024年12月30日現在)

基準価額
22,862円
純資産総額
317億円

※掲載期間において、分配金の支払い実績はありません。

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

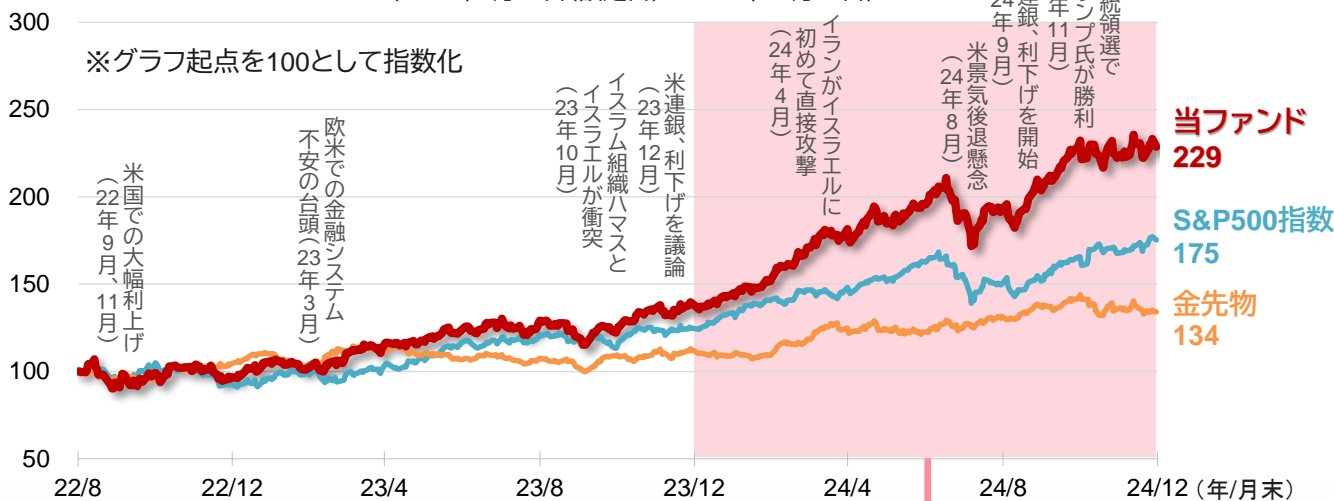
当ファンドの運用状況

当ファンドの基準価額は、設定後2年4ヵ月で約129%の上昇

- 米国株式は、22年8月末以降、米金融政策の動向などを背景に下振れする場面もあったものの、23年末にかけて上昇基調となりました。24年には、米景気後退懸念などから急落する場面もあったものの、好調な企業決算や利下げの開始、大統領選でのトランプ氏の勝利などを背景に騰勢が強まりました。
- 金は、22年8月末以降、投資家のリスク回避局面で有事の金として選好されるなど、23年末にかけて概ね堅調に推移しました。24年には、米長期金利の上昇が重石となったものの、各国中央銀行の買い需要のほか、中東での地政学リスクの高まりや欧米での利下げなどを背景に上昇傾向となりました。
- こうした中、当ファンドの基準価額は、先物取引の活用による、純資産総額の200%相当額の投資が功を奏し、**設定来で約129%、2024年は年間で約65%の上昇**となりました。

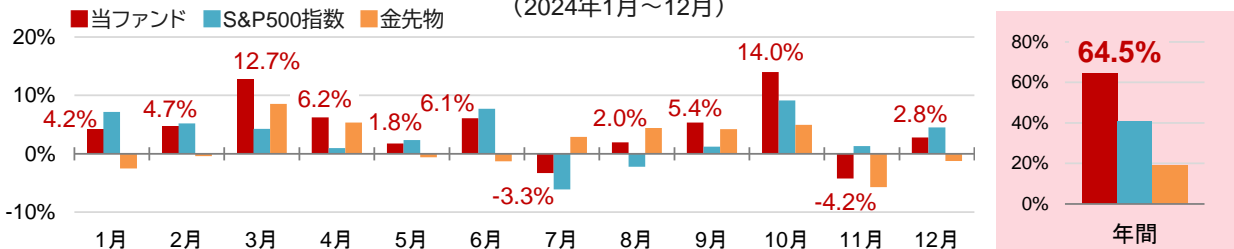
<当ファンドの基準価額とS&P500指数、金先物の推移>

(2022年8月31日(設定日)～2024年12月30日)



<2024年の月間および年間の騰落率>

(2024年1月～12月)



※「当ファンド」は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の基準価額の値です。

※ S&P500指数: S&P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)の値を日興アセットマネジメントが円換算、金先物: ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターン*ベース、米ドルベース) *エクセスリターンとは、先物取引のロールオーバーなどを考慮したものです。

※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。

※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

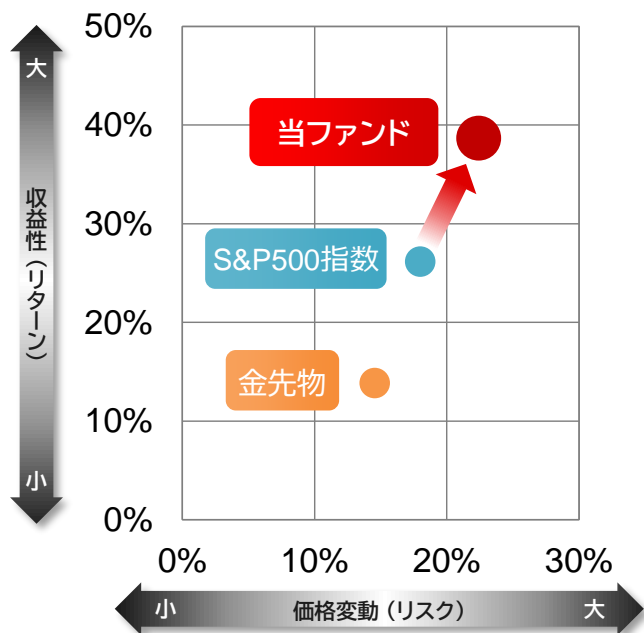
当ファンドの魅力 ～米国株式と金を組み合わせる効果～

米国株式と金に、純資産総額の200%相当額の投資を行なうことにより、
好環境時には、**リターンが高まり、運用効率も向上**

- 当ファンドでは、純資産総額の200%相当額の投資を行なうことから、米国株式や金に100%相当額の投資を行なう場合に比べると、リスクは高まる傾向があります。
- ただし、米国株式や金が上昇した場合には追加的なリターンの獲得が期待できるほか、値動きの特性が異なる2資産の併せ持ちに伴う分散効果により、運用効率の向上が期待されます。
- 実際に、当ファンドの設定来でのリスク・リターンを計算すると、S&P500指数や金先物に100%相当額の投資を行なった場合に比べて、リスクはやや高まったものの、**それ以上にリターンが高まり、その結果、運用効率も向上**したことが確認できます。

<当ファンドとS&P500指数、金先物のリスク・リターン>

(2022年8月31日(設定日)～2024年12月30日、日次)



	当ファンド	S&P500 指数	金先物
リターン	38.6%	26.1%	13.8%
リスク	22.5%	18.0%	14.6%
リターン/リスク	1.7	1.4	0.9

設定来における当ファンドの
年率リターンは**38.6%**、
運用効率(リターン/リスク)は
1.7という良好な結果に。

※ リターンは日次リターンの平均、リスクは日次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算。

※ 「当ファンド」は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の基準価額の値です。

※ S&P500指数: S&P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)の値を日興アセットマネジメントが円換算、金先物: ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)

※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。
なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。

※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

(ご参考) 米国株式と金について

長期的には、米国株式と金は値動きの特性が異なる傾向

<S&P500指数と金先物の特徴>

米国株式(S&P500指数)

「米国の株価動向を幅広く捉える指数」

- 米国の主要産業を代表する500社の株式で構成された、同国の代表的な株価指数の一つ。
- 米国株式時価総額の約80%*をカバーしており、米国株式の動向を表す指標として広く認識されている。

S&P500
*2024年12月末現在

金(金先物)

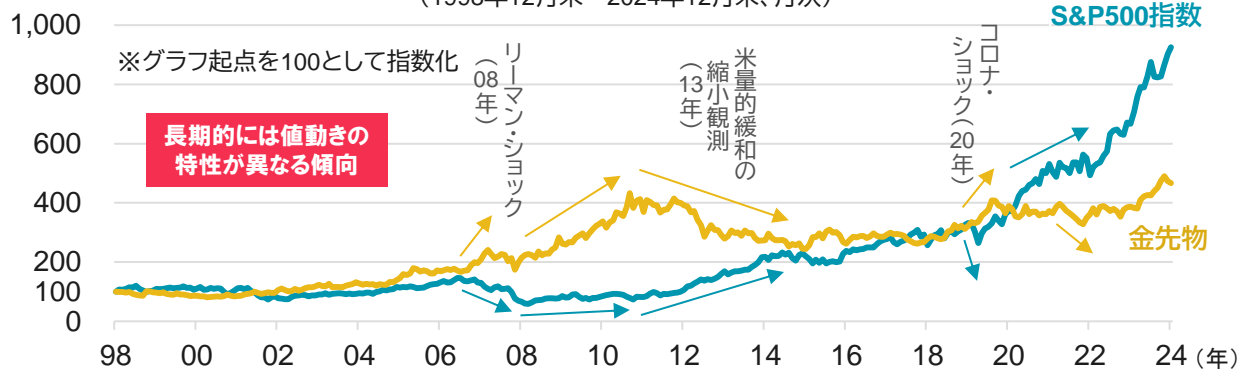
「分散投資先として有効な資産」

- 株式や債券などの主要資産と値動きの特性が異なる傾向がある。
- 「有事の金」と呼ばれ、市場急変時に選好されやすい。
- それ自体に価値がある実物資産であることから、**インフレに強い**とされる。

※上記は、主な特徴を列挙したものであり、すべてを網羅したものではありません。

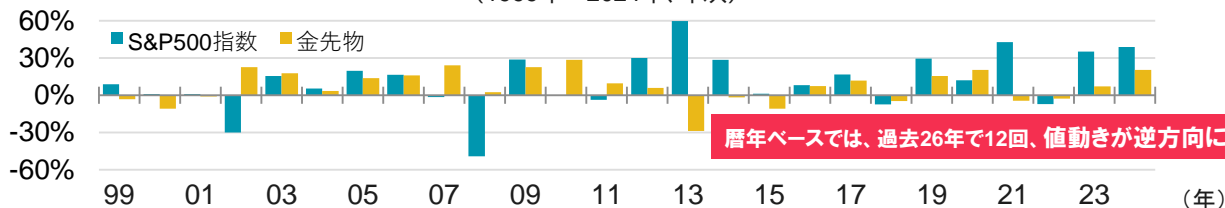
<S&P500指数、金先物の推移>

(1998年12月末～2024年12月末、月次)



<S&P500指数、金先物の騰落率>

(1999年～2024年、年次)



※ S&P500指数: S&P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)の値を日興アセットマネジメントが円換算、金先物:ブルームバーグ金サブ指数(エクセスリターンベース、米ドルベース)

※ 金先物は米ドルで決済される先物取引を活用しますが、買建額に対する為替変動の影響がないことから米ドルベースを掲載しています。なお、実際の金先物取引では、評価損益分や外貨建て証拠金については為替変動の影響を受けます。

※ 上記指数は、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

- 1** 米国株式および金に分散投資を行ない、収益の獲得をめざします。
- 2** 先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の200%相当額の投資を行ないます。
- 3** 購入時手数料はかかりません。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。
 ※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式、上場投資信託証券および株価指数先物取引ならびに金先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式、上場投資信託証券および株価指数先物取引ならびに金先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化、金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【デリバティブリスク】【レバレッジリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「Tracers S&P500ゴールドプラス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限(2022年8月31日設定)
決算日	毎年7月8日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨーク商品取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.1991%(税抜0.181%)
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕 www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

(50音順、2025年1月17日現在)



とは…

「こんな欲しかった」というアイデアをファンドの設計に取り入れ、「インデックス(指数)」や「独自に定めたルール」などの**ルールに沿って運用(トレース)**する、日興アセットマネジメントのファンドシリーズです。